

3 居宅サービスの状況

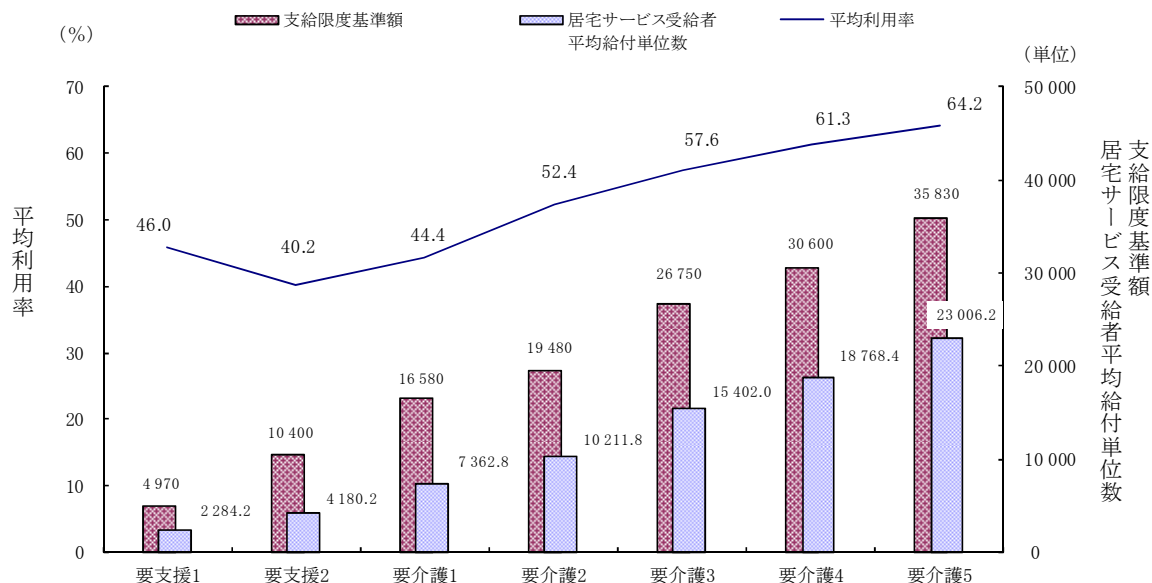
(1) 利用状況

平成26年4月審査分における平均利用率（居宅サービス受給者平均給付単位数の支給限度基準額（単位）に対する割合）を要介護（要支援）状態区別にみると、「要介護5」64.2%が最も高く、次いで「要介護4」61.3%、「要介護3」57.6%となっている（図3）。

また、要介護（要支援）状態区別に受給者の居宅サービス種類別の割合をみると、訪問介護及び通所介護は、いずれの要介護（要支援）状態区分でも3割を超えている。訪問看護は、要介護（要支援）状態区分が高くなるに従って利用割合も多くなっている。（図4）

図3 要介護（要支援）状態区別にみた居宅サービス受給者の平均給付単位数・平均利用率

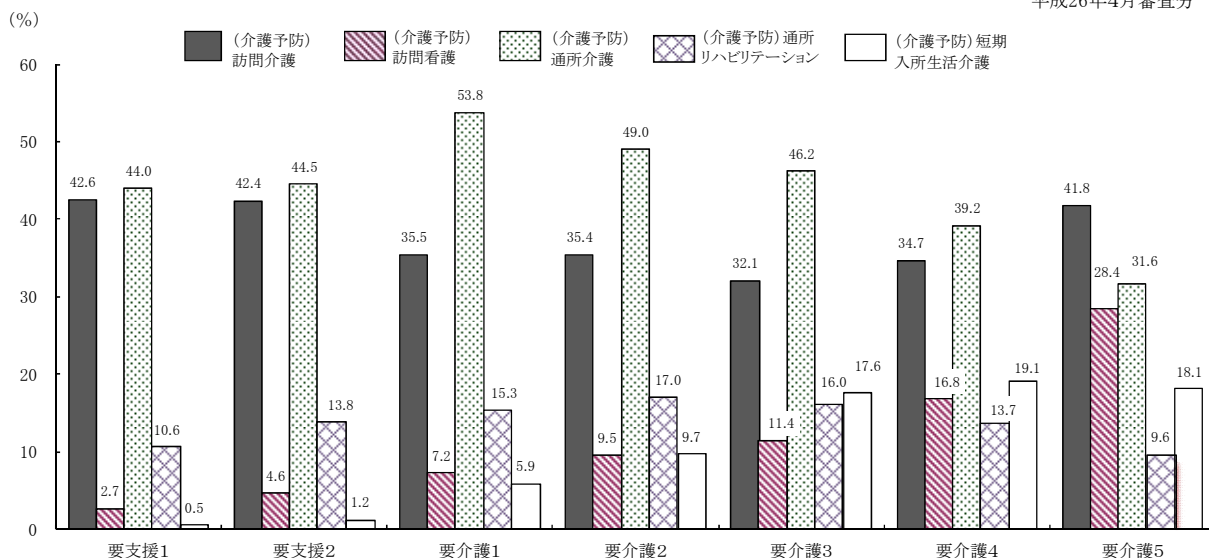
平成26年4月審査分



注: 1) 居宅サービス受給者平均給付単位数 = 居宅サービス給付単位数 / 受給者数
 2) 平均利用率 (%) = 居宅サービス受給者平均給付単位数 / 支給限度基準額 × 100

図4 要介護（要支援）状態区別にみた居宅サービス種類別受給者数の割合

平成26年4月審査分

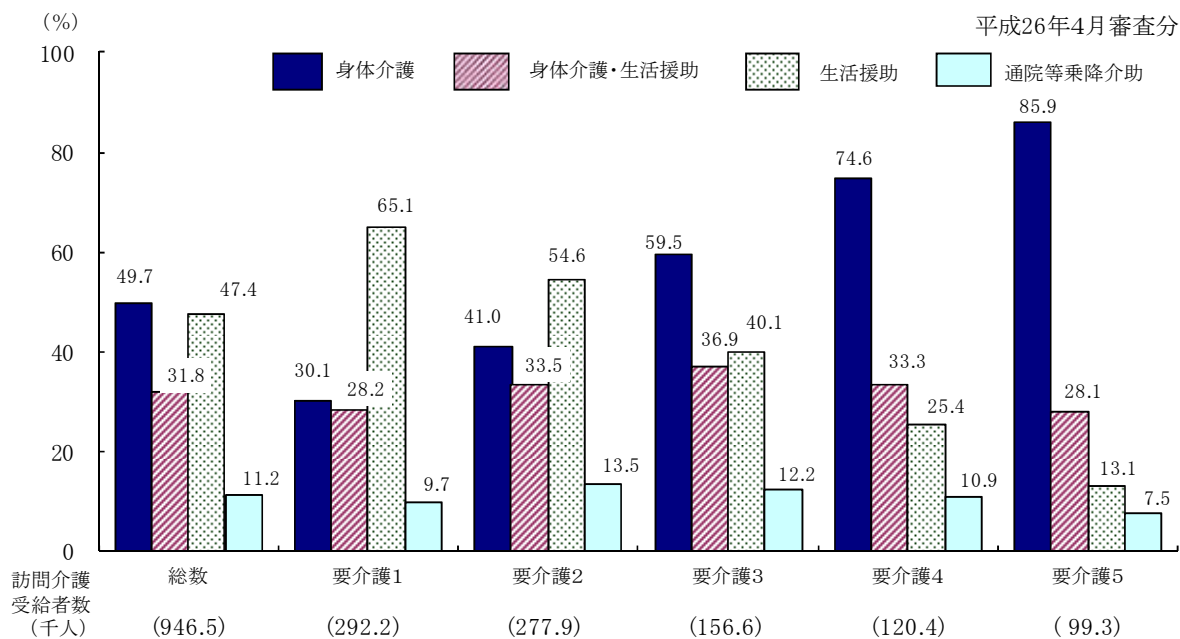


注: 居宅サービス種類別受給者数の割合 (%) = 居宅サービス種類別受給者数 / 居宅サービス受給者数 × 100

(2) 訪問介護

平成26年4月審査分の訪問介護受給者について要介護状態区別に訪問介護内容種類の割合をみると、要介護1では「生活援助」65.1%、要介護5では「身体介護」85.9%となっており、要介護状態区分が高くなるに従って「身体介護」の利用割合が多くなり、「生活援助」の利用割合は少なくなっている（図5）。

図5 要介護状態区別にみた訪問介護内容類型別受給者数の割合



注：1) 訪問介護内容類型別受給者数の割合(%) = 内容類型別の受給者数/訪問介護受給者数×100
 2) 「身体介護・生活援助」とは、身体介護に引き続き生活援助を行った場合をいう。

(3) 通所介護・通所リハビリテーション

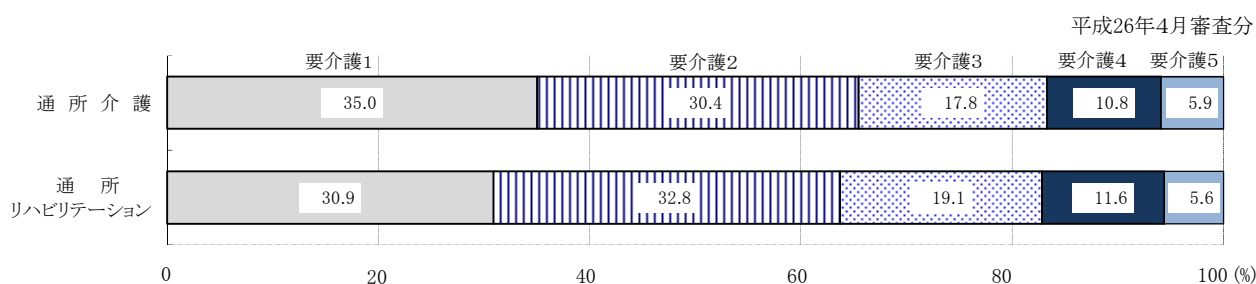
平成26年4月審査分の通所介護と通所リハビリテーションの受給者について要介護状態区別の割合をみると、「要介護1」～「要介護3」の合計が全体の8割以上を占めている（表9、図6）。

表9 通所介護—通所リハビリテーションの要介護状態区別受給者数及び割合

平成26年4月審査分

	通所介護		通所リハビリテーション	
	受給者数(千人)	構成割合(%)	受給者数(千人)	構成割合(%)
総数	1 263.3	100.0	408.0	100.0
要介護1	442.6	35.0	126.1	30.9
要介護2	384.4	30.4	133.6	32.8
要介護3	225.3	17.8	77.9	19.1
要介護4	136.1	10.8	47.5	11.6
要介護5	75.0	5.9	22.9	5.6

図6 通所介護—通所リハビリテーションの要介護状態区別受給者数の割合



(4) 福祉用具貸与

福祉用具貸与種目別に、1年間の単位数の割合をみると、「特殊寝台」が32.0%、「車いす」が19.0%となっており、それらの付属品（「特殊寝台付属品」及び「車いす付属品」）を含めると、特殊寝台及び車いすの貸与が全体の約7割を占めている（表10）。

また、平成26年4月審査分の要介護（要支援）状態区分別件数の割合をみると、「体位変換器」や「床ずれ防止用具」で要介護5の割合が多くなっている（図7）。

表10 福祉用具貸与種目別にみた件数・単位数

	件 数				単 位 数			
	平成25年度 (千件)	構成割合 (%)	平成24年度 (千件)	対前年度 増減数 (千件)	平成25年度 (千単位)	構成割合 (%)	平成24年度 (千単位)	対前年度 増減数 (千単位)
総数	69 021.6	100.0	63 124.2	5 897.4	25 914 399	100.0	24 267 741	1 646 658
車いす	7 525.8	10.9	7 214.8	311.1	4 921 683	19.0	4 789 343	132 339
車いす付属品	2 532.4	3.7	2 353.4	179.0	463 117	1.8	436 370	26 747
特殊寝台	9 086.8	13.2	8 602.3	484.6	8 286 463	32.0	7 907 307	379 157
特殊寝台付属品	25 957.2	37.6	24 449.7	1 507.5	3 485 261	13.4	3 309 663	175 598
床ずれ防止用具	2 714.8	3.9	2 627.7	87.2	1 748 112	6.7	1 697 844	50 268
体位変換器	316.9	0.5	294.1	22.8	71 178	0.3	72 174	△ 996
手すり	11 186.1	16.2	9 091.3	2 094.8	3 093 030	11.9	2 513 740	579 290
スロープ	1 941.7	2.8	1 593.1	348.7	942 988	3.6	884 420	58 568
歩行器	5 293.1	7.7	4 629.7	663.3	1 518 336	5.9	1 332 932	185 404
歩行補助つえ	1 541.5	2.2	1 405.0	136.5	172 575	0.7	157 177	15 398
認知症老人徘徊感知機器	221.5	0.3	173.0	48.5	138 506	0.5	112 184	26 322
移動用リフト	692.0	1.0	684.4	7.6	1 062 878	4.1	1 049 717	13 160
自動排泄処理装置	11.8	0.0	5.8	5.9	10 272	0.0	4 870	5 402

注：各年度とも5月審査分～翌年4月審査分までの累計である。

図7 福祉用具貸与種目別にみた要介護（要支援）状態区分別件数の割合

